

2009 茨城県芸術祭 映像コンクール入賞・入選作品

11月8日(日)午後1時
茨城県立県民文化センター

特賞		<p>日本現在最古の組立式歌舞伎舞台を造る 小林 茂 (ひたちなか市)</p> <p>西塩子の回り舞台は、青竹で組んだドーム型で壮大で美しいものです。その組み立てや撤収作業を通して、住民の絆の深まりと伝統を守ることの尊さを描いた。</p>
優賞		<p>かたつむり 寺田 英雄 (つくば市)</p> <p>映像作品作りを始めて34年、これまで風景など大きな被写体に目を向けてきましたが、今回は曾孫と見つけた小さな小さな「かたつむり」を撮影しました。</p>
		<p>桜川初夏の風景 大和田 勝男 (牛久市)</p> <p>のどかな四手網のある桜川で、流れをのぼってくる魚を捕えるサギの様子を撮りました。サギは警戒心が強いのでリモートカメラを使い何日も通っての撮影でした。</p>
		<p>消えた鉄路 鹿島鉄道ローカル線 塩田 脩 (松戸市)</p> <p>鹿島鉄道が廃線になることを聞き、仲間と撮影に行ったのがきっかけで、その後2年間取材を続け、存続運動に携わる人たちに話を聞くなどしながら纏めました。</p>
奨励賞		<p>祭りを守る八十五歳 吉澤 富夫 (那珂市)</p> <p>西金砂神社の7年毎に行われる「小祭礼」。この祭りに13歳から参加し、以来、裏方として、また田楽師として伝統を守り続ける老人を祭の流れとともに追った。</p>
		<p>歩実ちゃん誕生～4ヶ月 細川 正男 (日立市)</p> <p>里帰り出産して生まれた孫と家族の記録。孫誕生後の日常生活を通して、家族の温かさが伝えられれば幸いです。季節と時間の経過が分かるように心掛けました。</p>
		<p>潔く散るや筑波の若桜 上野 卓哉 (笠間市)</p> <p>戦時中、旧友部町にあった筑波海軍航空隊。昭和20年、ここから特攻隊として学徒出身の若者たち飛び立って行った。そうした特攻隊員たちの心情に迫る。</p>
茨城新聞社賞		<p>港の大工さん 遊座 文一 (北茨城市)</p> <p>5年に一度北茨城市で行われる「常陸大津の御船祭」に使われる祭事船を造った星野さんは、木造船づくりを今に伝える数少ない船大工さん。船造りへの思いを描く。</p>
		<p>凍みやこんこん 長澤 恵 (ひたちなか市)</p> <p>茨城だけで作られている「凍みやこんにやく」。現在ではたった2軒になってしまった。この伝統を後世に残したいと考え、その1軒、中島商店さんに密着取材した。</p>
		<p>ボランティアに挑む仲間たち 吹谷 富男 (守谷市)</p> <p>介護老人保健施設に10年間もボランティアで慰問活動をしている「元気かい」7名の皆さんが、家族ともども演目に工夫を凝らし、挑戦する様子を記録しました。</p>
入選		<p>ミニSLが走る - 片岡庭園鉄道 - 外山 仁一 (ひたちなか市)</p> <p>ひたちなか市の「片岡庭園鉄道」では3種類のミニSLがお客さんを楽しませてくれます。これを管理運営する三井さん達のグループの交流と活躍ぶりを描きます。</p>
		<p>映像づくり一緒に楽しみませんか 秋田 奂 (土浦市)</p> <p>「土浦ビデオサロン」に入会を勧誘するためのコマーシャル。ようこそ編と映像作家誕生物語編の2話構成です。ビデオを始める人が増えると嬉しいです。</p>
		<p>秩父夜祭 山車と花火の競演 小川 浩 (日立市)</p> <p>一度見に行きたいと思っていた「秩父夜祭」。平成18年と19年の2回にわたり、祭の混雑のなかで撮影場所選びなどに苦労しながら撮影し完成しました。</p>